

七月八日、出水市高尾野町大久保の畑であった「農業体験塾」。参加した家族連れなど十五組二十人は、取れたてのスイートコーンを詰め込んだ袋を両手に提げ、満面の笑みで畑を後にした。収穫後のパーベキュー大会では、和気あいあいと語り合い交流を深めた。農園では、ミカンやマンゴーの苗作りなどを手がける。農業体験塾は、農園の空いている土地を利用し地

竹崎キヨ子さん(60) 出水市高尾野町大久保

自営農園で「農業体験塾」開く



ミカン園で「農業はお金にかえられないものを得られる」と話す竹崎キヨ子さん
＝出水市高尾野町大久保

農の素晴らしさ知って

元・出水を丸ごと楽しんで、もう狙い。スーパードイツや、ぶまつすくなダイコンや、見た目がきれいなミカンは、かりではないことを実感し、農業を知ってもらいた

元・出水を丸ごと楽しんで、もう狙い。スーパードイツや、ぶまつすくなダイコンや、見た目がきれいなミカンは、かりではないことを実感し、農業を知ってもらいた

たけさき・きよこ 1946年、旧高尾野町上水流通生まれ。三菱電機猪名野学園(兵庫県)卒。県むらおこしプランナーなど歴任。

農業体験塾は、年間六回開催する。野菜の収穫や芋掘り、ミカン狩り、タケノコ掘りなどのほか果樹苗木の接ぎ木、スイートコーン種まき、もちつき大会、川遊びなど自然を満喫できる多彩な体験メニューがある。会費は一家族が年間一

を持ち帰ることができ、新鮮さが好評だ。

体験塾も軌道に乗り、いまは次のアイデアを進めている。自宅のミカン山の敷地内に屋根付きの交流広場を作った。周辺にサクランボ、イチゴ、ヒガンバナ、ハナシヨウブなど多くの植物も植えた。「四季折々の自然を楽しめて、コロンサートなどができる公園にしたい」と夢をふくらませる。

「大自然は人のものではない。人は大自然から土地や水を借りて農業をしている。その農業を交流の場にしたい」

農業を通じて、そんなことを感じてほしいという。(出水支局・茅島俊哉)